

路面切削前の支障物除去による作業の効率化

佐賀県土木施工管理技士会

株式会社 中野建設

土木部 佐賀舗装事務所 副課長

鳥屋 吉浩

Yoshihiro Toriya

1. はじめに

工事概要

- (1) 工事名：市道長瀬町八戸線舗装補修工事
- (2) 発注者：佐賀市役所
- (3) 工事場所：佐賀市八戸一丁目地内
- (4) 工期：平成20年9月5日～
平成20年12月12日

現場は施工延長350m、平均幅員3.0mの市道で、老朽化したアスファルト舗装（カラー舗装）の表面を平均4cmの厚さで路面切削機にて削り取り、4cmのカラー舗装を復旧する工事である。

路面切削の施工に先立ち、施工範囲内にある下水道のマンホール（21箇所）の上部を撤去することにより、切削面の平坦性向上と1日当たり施工面積の向上を図る。

2. 現場における問題点

支障物となる下水道マンホールを残したまま路面切削を行なった場合、下水道マンホールの手前で路面切削機のドラムを上げ、下水道マンホール通過後にドラムをおろして切削作業を再開することになり、下水道マンホール周囲には路面切削機で削りきれない舗装が残ってしまう（図-1）。

機械で削れない部分の舗装は人力では取り取ら

なければならず、下水道マンホールの個数が多い場合はかなりの時間と労力を要する。

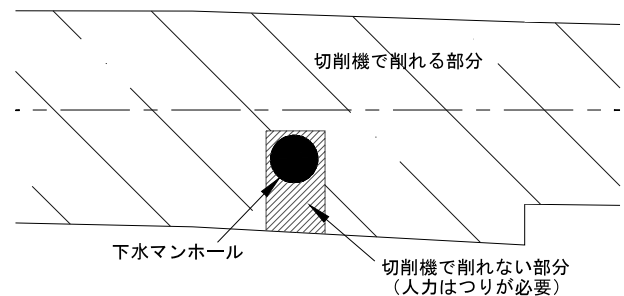


図-1 平面図

また、ドラムアップをすることにより連続作業が中断されるので、切削面の平坦性が損なわれたり、交通解放前に下水道マンホール周囲の段差解消のため擦り付け舗装の施工を行わなければならないため（写真-1）、時間的ロスが生じて1日当たりの施工面積が少なくなる問題点があった。

3. 工夫・改善点と適用結果

路面切削の施工に先立ち施工箇所全面を機械で削ることが出来るようにするため、下水道のマンホール上部を撤去した（写真-2）。上部を撤去することにより高さを11cm下げることができた。



写真-1 擦り付け舗装



写真-2 マンホール上部撤去後

路面切削作業時に支障となる下水道マンホールの上部を撤去したことにより、その都度ドラムをあげて作業を中断する必要がなくなり、連続で作業を行なうことができた。

連続施工の適用結果

- (1) 切削面の平坦性が向上した。
- (2) ドラムアップ～切削機移動～ドラム設置の時間

的ロスが低減した。

- (3) 下水道マンホール周囲の舗装を人力では取り取る作業がなくなり、路面切削機の1日当りの施工量が向上した。
- (4) 下水道マンホールが切削面以下にあるため周囲の段差擦り付け舗装が不要となった。
- (5) 路面切削終了後の交通開放時に下水道マンホールが表面に露出していないため段差がなく、安全面においても効果があった（写真-3）。



写真-3 路面切削完了

4. おわりに

適用条件、採用時の留意点

- (1) 下水道マンホール撤去前に施設管理者の承諾を得ておく必要がある。
- (2) 下水道マンホールの上部撤去後、埋め戻してアスファルト合材にて路面を復旧しなければならないため、開口部をふさぐ鉄板がマンホールの個数分必要となるため、事前に製作しておかなければならない。